

## アッヴィ、C型慢性肝炎治療薬「ヴィキラックス®配合錠」をジェノタイプ1型の発売に続き、ジェノタイプ2型を日本にて適応追加申請

December 17, 2015

### アッヴィ、c型慢性肝炎治療薬「ヴィキラックス®配合錠」をジェノタイプ1型の発売に続き、ジェノタイプ2型を日本にて適応追加申請

アッヴィ合同会社（本社：東京都港区、社長：ジェームス・フェリシアーノ）は、ジェノタイプ2（GT2）型C型慢性肝炎ウイルス（HCV）に感染した成人患者さんの治療薬として、「ヴィキラックス®配合錠」（オムビタスビル水和物・パリタプレビル水和物・リトナビル配合錠）の日本における適応追加の申請を行いました。「ヴィキラックス®配合錠」は、ジェノタイプ1（GT1）型のC型慢性肝炎治療薬として2015年11月から発売されています。

今回の承認申請は、GT2型の患者さん171名を対象とした、第III相臨床試験であるGIFT-2試験の結果に基づいています。日本は先進国の中でC型肝炎ウイルスの感染率が高い国の一つといわれており、HCV患者数は約150万人で<sup>1,2</sup>、そのうち20%から30%がGT2型の患者さんとみられています。<sup>1</sup>

#### アッヴィについて

アッヴィは、アボットラボラトリーズからの分社を経て2013年に設立された、研究開発型のグローバルなバイオ医薬品企業です。専門知識や献身的な社員・イノベーション実現に向けた独自の手法を通じて、世界で最も複雑かつ深刻な疾患領域における先進的な治療薬を開発・提供することをミッションに掲げています。アッヴィは、100%子会社のファーマサイクリクス社を含めて世界で28,000人以上を雇用し、170カ国以上で医薬品を販売しています。当社の概要や人材・製品群・コミットメントに関する詳細は[www.abbvie.com](http://www.abbvie.com)をご覧ください。よろしければTwitterアカウント@AbbVieもフォローください。また、人材情報はFacebookやLinkedInページをご参照ください。

日本においては、アッヴィ合同会社の約900人の社員が、医療用医薬品の研究・開発や販売に従事しています。自己免疫疾患・新生児・肝疾患・ニューロサイエンスの各領域を中心に、患者さんの生活に大きく貢献できることを願っています。詳しくは、[www.abbvie.co.jp](http://www.abbvie.co.jp)をご覧ください。

#### 今後の見通しに関する記述

本リリースにおける記載には、1995年米国私募証券訴訟改革法に示される「今後の見通しに関する記述」が含まれています。今後の見通しに関する記述は、通常、「見込み」、「期待」、「予想」、「予測」、および同様の表現によって識別されます。これらの今後の見通しに関する記述は、予測内容と大いに異なる結果が生じる可能性があるリスクや不確実性の影響を受けます。そのようなリスクと不確実性には、知的財産の問題、他の製品との競合、研究開発プロセスに必然的に伴う困難、不利な訴訟または政府措置、医薬品業界に適用される法律および規制の変更が含まれます。

アッヴィの経営に影響を及ぼす可能性のある経済、競合状況、政府や科学技術その他の要因は、10-K書式によって米国証券取引委員会に提出済みのアッヴィの2014年度アニュアルレポートの1A項「リスク要因」の項目に記載しています。

アッヴィは、法律で要求される場合を除き、本リリースの発表後に出来事や変化が生じた場合も今後の見通しに関する記述を更新する義務を負いません。

1. Kohnodai Hospital. National Center for Global Health and Medicine [cited 20 February 2013]. Available from: [http://www.ncgm.go.jp/center/forpatient\\_hcv.html](http://www.ncgm.go.jp/center/forpatient_hcv.html)

2. Gower, E. Global epidemiology and genotype distribution of the hepatitis C virus infection. Journal of Hepatology 2014; 61: S45-S57, Table 2.